

議会報告会 報告書

八 木 嘉 之

開催日時	平成 27 年 8 月 19 日（水） 19 時 00 分～ 20 時 30 分
開催場所	彦根市民会館（西中、鳥中学区）
出席議員	議 員 氏 名（ 役 割 ） 辻真理子（開会挨拶）、獅山向洋（閉会挨拶）、北川元気（受付）、 八木嘉之（報告書作成）、杉原祥浩（説明者）、上杉正敏（司会） 長崎任男（説明者）、安居正倫（会場案内）
参加者数	21 人
内 容 （内容及び時間配分）	1 開会挨拶 19:00～19:05 （議員紹介、資料確認） 2 事業報告 19:06～19:28 3 報告に対する質疑応答 19:28～19:53 4 意見交換 19:53～20:30 5 閉会挨拶 20:30～20:35
主な質疑応答、 議会への意見	<報告に対する質疑など> Q：耐震工法と制震工法のそれぞれの実質負担額について示してほしい。 A：現行案は約 2 5 億 9 千万円、制震は約 1 7 億 5 千万円である。 Q：耐震工事を施すことで耐用年数が 50 年程度になると聞くと聞くが、先々まで現有庁舎を使い続けることになる。そのことに関して議会はどう考えているのか？ A：庁舎は市のシンボルとして存在する。市長がしっかりと本市庁舎の在り方を示し議論されることが大切である。現在はその部分が欠けていると感じている。 Q：庁舎整備検討委員会は、事業費の抑制や現有資産の活用など 5 つの検討課題が諮問されていたが、全ての諮問内容が検討されないまま答申されている。議会はこうした点についてしっかり議論されたのか？ A：それぞれの議員の下でしっかりと議論されたものと考えている。

	(意見) ○庁舎耐震整備検討委員会の議事録が、彦根市のHP上から削除されていることに不信感をもっている。 ○耐震化事業は、設計を何度も繰り返しておこなうべき事業でないと思う。一番大切なものは何かを市長に進言してもらいたい。 <意見交換の部> Q：議会報告会の主眼はどこに置かれているのか？ A：議会基本条例制定前に実施した、市民アンケートでは、議会に対する信頼や期待は非常に低かった。今後、議会報告会の実施方法も改善を重ね、議員間での議論を重ね、政策提言、政策提案に結び付けることが最終の目的である。 (意見) ○議会報告会という形式よりも意見交換会の実施形態を望む。 ○司会者の挨拶の中に「担当部局に伝える」との表現があったが、少し違和感があった。「部局と協議、交渉を行う」などの表現に改めるべきである。 ○経済諮問会議の答申を読んだが、現実離れした内容である。顧問を招請するなど多額の経費を費やし、時間をかけて議論しているにも関わらず、内容が伴っていない印象を受けた。来年度にかけては、観光をテーマに議論されるらしいが同じような結果とならないよう議会としてしっかりチェックするべき。 ○市社会福祉協議会と学区社会福祉協議会が実施している事業や予算などを比較すると、負担金のあり方に不公平を感じる。市は、法人格を有する社会福祉協議会は市に一つとの見解であるが、社会福祉協議会の組織のあり方や事業運営について議会で議論すべきである。 ○井伊直弼公生誕200年祭に関して、観光PRが不足している。議会も観光PRに積極的に動くべきである。 ○前段の話の中で「議会として・・・」という言い回しがあった。その時点で既にフィルターがかけられている。議会の目線ではなく、市民目線で開かれたわかりやすい議会に努めてほしい。
--	---

※ 添付するもの

- ・回収したアンケート
- ・写真 数枚（当日の様子がわかるもの、データ提出も可）

※ 提出期限：開催後、7日以内に議会事務局あて提出